

桜ニュータウン 防災元年!!

地域で起こる自然災害を理解し、防災力を高めよう

防災プロジェクトの立ち上げと委員の募集

3月11日、東日本大震災が発生しました。今回の震災は1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災のような局地的な地震ではなく、東北地方や関東地方の広範囲に及ぶ大地震でありました。岩手県、宮城県沖、福島県沖、茨城県沖と連動する500kmにわたる地震の大きさは、マグニチュード9.0で、世界でも5番目に大きな地震と言われ、地震発生から四ヶ月が過ぎ、いまだに震度4程度の余震が続き、これからも大規模な地震が起きる可能性もあり、まさに自然の猛威の恐ろしさを思い知らされるものでありました。

3月5日に実施した「防災フェスタ」では市が作成した防災マップを活用し、「桜ニュータウン」にM7.3クラスの県南部地震と、M6.9クラスの直下型地震が起こったと想定し、被害の程度と地域の実態について学び、6日後に大震災が発生しました。

下広岡や近隣の地形・地質を考慮した上で、起こりうる自然災害を理解し、桜ニュータウンの人々が協力し合って防災力を高めていくため、市が進めている自主防災組織の理解や社会福祉協議会で提起している災害時要援護者安否確認などに対応するため、(仮称)防災委員会を設置して組織的に学習会や訓練を行うことが自治会役員会で決まりました。

災害等が発生すると被災者や高齢者、障害者、子供達など災害弱者に対する支援が必要になります。緊急事態に対応する体制の整備や要援護者への支援体制など検討課題が山積します。その課題に取り組むために委員の募集を行ないますので、ご協力いただける方は、下記の申込み用紙に記入して8月31日まで班長さんに提出をお願いします。

『班長さんは9月の例会に持参してください』 防災プロジェクト代表・金子和雄
.....切り取り線.....

申込み用紙

防災プロジェクトに参加をします

氏 名 班

氏 名 班

電 話

提言などありましたらお願いします。(記入欄がありませんので別紙にて)